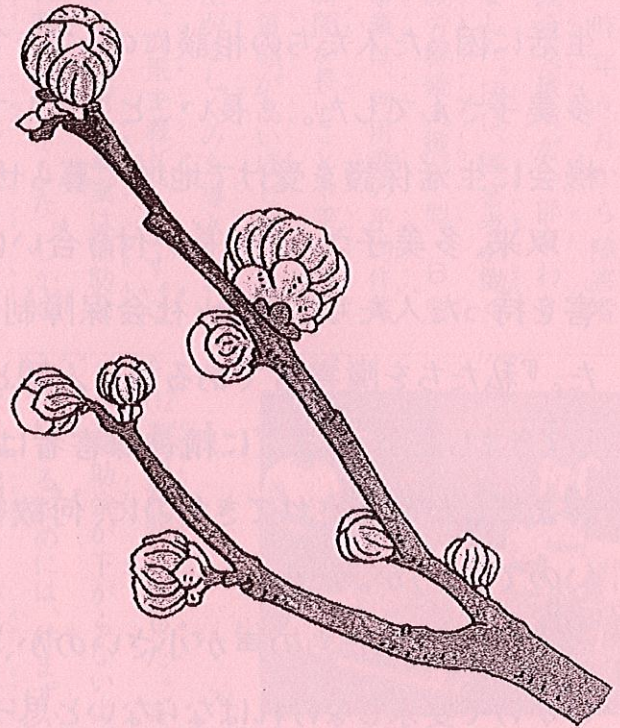


HSK こころから

67号

2019.4

病をこころ
晴水ぬ日々にぬり
郷をたのむ
春の白いた
心おどろく
美



<https://www.seishin-sien.com/>

ホームページも見てね！



こちらの
QRコードからも
アクセスできます

昭和48年1月13日第3種郵便物承認

HSK通巻番号565号

発行 2019年4月10日（毎月10日発行）

編集 住所：札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

団体名：特定非営利活動法人（NPO）

精神障害者を支援する会

TEL：（011）736-1697

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会（HSK）

定価 50円（会費を含む）

2019年度を迎えて

精神障害者を支援する会専務理事 細川久美子

4月7日、統一地方選挙の前半戦が終了し、北海道の知事が新しい人になりました。私が初めて精神障害者の方たちの相談を受けるようになったのは、1979年のことです。それまでの私は、精神障害者がどれだけの差別を受けていたかなど知る由なく、生活に困った人たちの相談にのってきていました。その中での相談が横式(現在山崎)多美子さんでした。「長いこと入院していたけれども退院できることになった、これを機会に生活保護を受けて地域で暮らせるように手を貸してほしい」ということでした。

以来、多美子さんとは長い付き合いになりましたが、このような相談を通して精神障害を持った人たちが福祉・社会保障制度から差別されていることを知ることになりました。『私たちが障害者である前に人間としてみてください』と心から訴えて行政に要求してきましたが、いまだに精神障害者は差別されています。3障害一元化と言われて法律までもが改正されてきたのに、何故等しく福祉制度が彼らを救う制度になっていないのでしょうか。

まだまだ、私たちの声が小さいのか、と考えるとこころはありますが、多くの人たちに呼びかけて要求しなければならないと思っています。

新しくなった知事は、国政と直結している人のようですが、私たちの声をどれだけ受け入れてくれるか疑問があります。だからこそ、今年是要望書をしたためて医療制度や交通費助成制度を等しく受けられる年なるようみんなで頑張らしましょう。

新しい仲間の紹介

福岡 信太郎です
右も左もわかりませんが
皆様よろしくお願ひします
一つずつゆくりとおぼえて
いきたいです。



障害福祉報酬減収の影響

「私達を抜きに私達の事を勝手に決めるな！」

怒りの声を国に届けよう！ 共同作業所・HAPPY 所長 片山和恵

昨年4月から障害者総合支援法が一部変わりました。国は、障害者が働く就労継続支援A型、B型事業は、利用者の平均作業時間が長いことや平均月額工賃額が高いほど補助金が増えるしくみを導入しました。成果主義といえます。これまではB型事業は補助金の額は同じでした。しかし法律の改正で、作業工賃の月額平均額で、補助金は7つのランクに分けて決まることになりました。

支援する会では、共同作業所・HAPPY（就労継続支援B型）を運営しています。HAPPYは、精神障害を抱えている方が多く体調の安定を優先していますので、補助金が増がってしまいました。2018年度は

112万円減収しました。また、補助金が増がらないようにするためには、休まず、長い時間働いて、高い工賃の難しい仕事ができる人に通ってもらうことを選びざるを得なくなりました。このため、より障害が重い方毎日通所することや長時間働くことが難しい方を受け入れ、少しでも作業する喜びや達成感を感じて欲しいと努力してきた事業所は、補助金が増がり運営が困難になっています。



きょうされんでも影響調査を発表しました。全国でも6割のB型事業所は補助金が増収しました。事業所は、利用者定員や開所日を増やして対応しています。これまでに以上に全国的に介護・福祉分野は慢性的な職員不足です。事業所が安定して運営できなくなると、利用者は通所することもできなくなってしまうです。

私は、福祉サービスであるB型事業の役割は、体調や障害を安定することを優先した働き方でも、利用者が安心して通える事業であるべきと考えます。一般就労を目指し訓練する場合は、就労移行事業など別の事業で行われています。ただでさえ病气や障害を抱えて



2019.4.9 きょうされん札幌ブロック4・9行動

てがんばっている方にこれ以上働けと働き方を強制し、働くことだけを評価することは許せません。

私達も、きょうされん国会請願署名活動に取り組み、国へ「私達を抜きに私達のことを勝手に決めるな！」と怒りの声を届け、制度を改善していきましよう！



ダリアの郷支援センター

3/12

年度末全体ミーティング



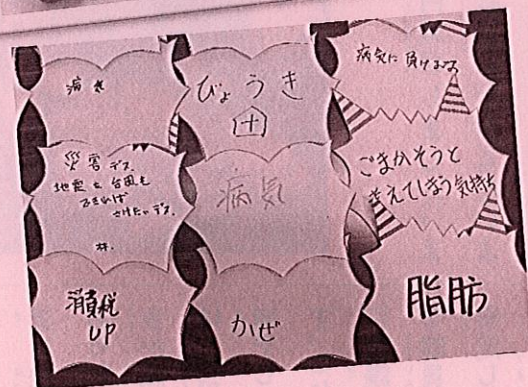
2/1

豆まき会



全体ミーティング

今年は胸に名札を付けてテーブル毎に話が弾みました。皆の声を事前に集めていたので、色々な発言を聞けたし、今後のプログラムやレクに生かしていきたいです。



2/19

百人一首レク



今年の豆まき会はファンキーな鬼とプリティーな鬼とヤングなお福さんで盛り上がりました。来年はどんな鬼とお福さんが誕生するのか楽しみです！！

百人一首

ひざ痛で長く座れないメンバーの為に初めてテーブル席を用意しました。好評でした。(3人がかりで1人に挑戦するチームも。勝敗はいかに?)

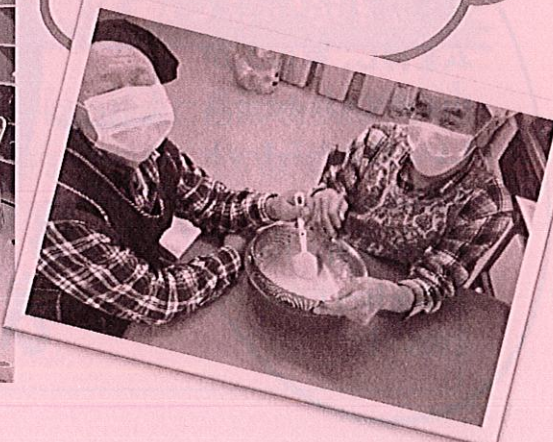
3/1

ひな祭りレク



ひな祭りレク

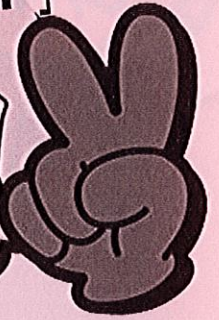
甘酒の酒粕を一生懸命ねりねり〜。頑張って美味しい甘酒ができました。お琴とフルートの生演奏は最高の響きでした。最後は手話で歌って感動した一日でした。



New!! 新商品

「共同作業所・HAPPY」

おすすめ品!



寒天のスープ

しめじ・たまご・わかめ・竹の子チンゲン菜・スイートコーン
(各 100 円)

カップに入れてお湯を注ぐだけ!おいしいスープのできあがり♡



カップゼリー

- コーヒー (450 円)
- オレンジ・青りんご・いちご・ピーチ・グレープフルーツ・ぶどう (各 400 円)

香り^{かお}と味^{あじ}が濃^こくなりました。食^{しょく}物^{ぶつ}せんいたっぷり♡



石けんギフトセット

スティック・ハート型^{がた}・パウダー。
用途^{ようど}にあわせてお使^{つか}いただけます。

プレゼントにもおすすめです。

地域をまわって、訪問販売!

大活躍!!

「コロコロキャスター」が

寒い冬の日も、頑張りました。チャイムを押し、家の人が出てきてくれるとうれしい。売れたらもっとうれしい。
共同作業所・HAPPYの事を知ってもらいたい!



おまわ

コロコロ



「支援する会」を利用してみませんか？



ダリアの郷支援センター（地域活動支援センター）



日常生活の悩みを相談できる、仲間づくりと交流、そしていつでも気軽に立ち寄れる等、障害を抱えていても、地域で安心して生活ができるように支援することを目指しています。

開所日	月曜日～土曜日
開所時間	10時～18時
利用料	月額1,000円
食事サービス	昼食250円/夕食450円

共同作業所・HAPPY（就労継続支援事業B型）

仲間と一緒に作業を行いながら、仕事ができるようになる事、友達作りや地域で生き生きと生活できるように、又、日常生活に必要な技術や知識、社会性を一緒に学び、身に付ける事を旨とします。

開所日	月曜日～金曜日	開所時間	10時～16時
利用料	世帯に一定の収入がある場合は、障害者総合支援法によって別途利用料がかかります。		



グループホーム（共同生活援助事業）

「地域の中でくらしたい、でも一人は不安」という人たちのためにグループホームがあります。仲間と共に共同生活をしながら、グループホームの世話人が訪問し、生活の支援をします。また、食事担当スタッフが月曜日から金曜日まで、栄養のバランスを考慮して朝食・夕食を作り、みんなでおいしい食事を頂きます。（支援法による利用料は、作業所と同様です）

相談活動事業

支援する会では、利用する・しないにかかわらず、精神障害当事者、家族、支援者の相談を受けています。相談は予約性になっていないので、事前にご連絡下さい。相談の内容に制限はありませんが、PSW（精神保健福祉士）が受けています。特に、障害年金や生活保護、一人暮らしのための相談を受けています。

支援する会を、応援して下さる会員を募っています。

会員とは、直接支援する会の活動に関わり、年一回の総会に出席できる方です。また、会報誌『こころから』を郵送し、会の活動をお知らせしています。

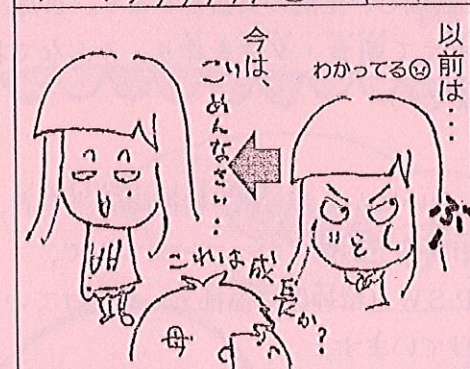
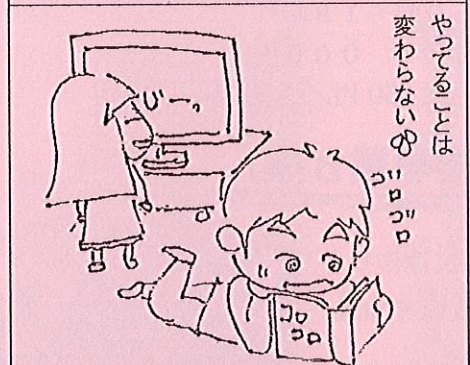
年会費〔1口〕

年間 ▶個人会費 1,000円（3口からお願いしています）

▶団体会費 5,000円

4コマまんが

～チヒロとサト～



By はは

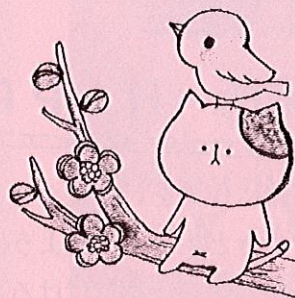
《寄付金・寄贈品》

当会の活動に対し、ご支援いただき
厚くお礼を申し上げます。

(順不同・敬称略)

2019. 1. 21～3. 31

北海道生活と健康を守る会連合会、障害者運動推進協議会、(有)京屋電機 斉藤一博、フジモト青果店、NPO 法人みんなの広場、サポートセンター「和」、蝦名秀治、藤原和正、(有)北日本宅建、曾我清子、山岸、伊藤勇人、山階雅章



～ご協力をお願い～

『書き損じハガキ、ありませんか?』

支援する会では“書き損じハガキ”を集めています。頂いたハガキは、支援する会の財政活動に使わせて頂きます。

ご協力宜しくお願い致します。

HSK ころから

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

発行 2019年4月10日(毎月10日発行)

HSK通巻番号565号

<編集後記>

🌸 待ちに待った春です。山の上にはまだまだ雪が残る札幌ですが、街中の雪はすっかり消えて、自転車ものれるようになりました。大人になると、進級や進学なんてものは無くなり、心新たにとはなかなかいきませんが、新年度が始まる4月は自分がどうしていきたいのか見つめなおす良い機会。何をしたいのか?どんな自分になりたいのか?私は、自分の頭の中を整理して、相談したり、報告できるようになる事。それが、人を支援するという仕事の前進につながると思います。そして、「ころから」では福祉情勢を伝える一面を充実させること。一年間、どうぞよろしくお願い致します!🌸 (藤原)